

## 「ぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式を実施

～和歌山県有田川町立石垣小学校4・5年生の「防災たんけん石垣っ子」が  
「消防庁長官賞」を受賞～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：中村 哲・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社常務執行役員）では、第20回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」において「消防庁長官賞」を受賞した「和歌山県有田郡有田川町立石垣小学校の4・5年生児童12名」に対し、2月20日（火）に同小学校体育館において全校児童が見守るなか表彰式を実施しました。

本コンクールは、子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災、防犯、交通安全に関係のある施設や設備を発見し、地域の人などにインタビューし分かったことをマップにまとめる実践的安全教育プログラムです。2023年度は全国の小学校、子ども会、児童館など658団体から8,904人が参加し、1,708作品（うち、当協会のタブレットを用いて作成したデジタルマップは769作品）が寄せられ、そのうち22作品が入賞（デジタルマップ特別賞含む）しました。

本作品は、防災をテーマとして、いつどんな時でも自分の命を守る行動ができるようになることを願い、町を流れる有田川が「大雨がふったらまちはどうになってしまうのか」という視点で、4・5年生の児童12名が地元の消防士と一緒に約3時間かけて町を探検し完成させたものです。マップでは、地域ごとに避難ルートが色分けされており、どこの避難所への道を通って避難すべきか、地域の人にも一目でわかる内容となっています。また、避難ルート上には、いざという時に役立つ設備（AEDや消火栓、災害時に使用可能な井戸など）や、危険箇所（倒壊の恐れがあるブロック塀や石垣、電灯柱、増水時には流される危険がある溝など）も詳細に拾い出して記載されています。さらには、家族との安否確認方法や日頃から準備すべき備蓄品リストも記載されているなど、地域の防災に関する情報満載でたいへん見ごたえのある作品となっています。

体育館での表彰式のあとは教室へ移動し、室崎審査委員長による審査総評の動画を視聴したあと、マップ作りで工夫した点や気づいたこと等を発表しました。また、テレビ局と新聞社からの取材も受けるなど、探検時の状況を振り返りながら、みんなで今回の受賞を喜び合いました。

当支部では、今後も関係機関・団体等と連携し、各種防災教育の普及啓発に取り組んで参ります。



表彰状授与



記念撮影